

門司区
唯一

厚生労働省の定める災害時に地域の
医療拠点となる病院です

年間救急搬入台数

災害拠点病院

3600台

市内救急の約10%相当

区内救急の約60%相当

約2.5時間に1人の救急患者を治療しています
北九州市の年間救急台数は約50000台
門司区の年間救急台数は約6000台

断らない医療

まず、診る。必要であれば送る。
受診する側に負担のない医療を目指しています

門司区
唯一

24時間 IVR 対応

急性心筋梗塞、くも膜下出血、
脳梗塞、外傷性出血など
緊急疾患に広く対応しています

年間救急患者

日本DMAT在籍

12000人

24時間365日診療を行います

小児CPA受入

3年間で2例の実績
初期介入が重要であり、
初療のみ行い、小児救急病院
に引き継いでます

日本DMAT2チーム、福岡県DMAT1チーム
現在も拡充を図っています

一次救急～三次救急対応

Stroke hot line体制

脳外科医が24時間対応する体制をサポートしています

ICU6床、HCU12床
重症度においても断らない医療を目指しています

外傷オンコール体制

外傷CPA、高エネルギー外傷時に
各科のエキスパートを招集します

常に新しい知識を求め、共有し、切磋琢磨しています

積極的な学習体制

速さは力だ!!



内科の目標

- 24時間365日オンコール体制で対応する
- 急性期・慢性期に関わらず、ニーズに応えた治療を提供する
- 入院患者に対し、カンファレンスで情報共有する
- 安定した方を積極的に逆紹介する

平成30年度の診療実績

外来患者数	14544名
入院患者数	1527名
平均在院日数	12.2日
紹介患者数	1524名
逆紹介患者数	1671名
心臓カテーテル検査数	209件
PCI件数	116件
ペースメーカー植込み件数	5件
上部内視鏡件数	7076件
胃瘻造設件数	36件

内科で対応している処置

- ①心臓カテーテル検査・治療
- ②ペースメーカー植込み術
- ③内視鏡的止血術
- ④胃瘻造設術
- ⑤気管切開術
- ⑥外傷性臓器損傷・骨盤骨折に対する血管内治療

平成30年度入院の上位症例

傷病名	件数
誤嚥性肺炎	164
市中肺炎	157
狭心症	104
尿路感染症	98
心不全	83
急性心筋梗塞	43
慢性閉塞性肺疾患	31

総合内科チーム

入院患者を担当し、専門分野のみではなく対応可能な内科全般の治療を行っています。救急搬送症例の緊急治療も対応しております。

昨年より2名増えました！



遠山 奈雅博



河原 哲也



戸田 未来雄



富永 尚樹



辻 麻衣子



鬼山 佳祐

循環器チーム

心臓カテーテル検査・治療、ペースメーカー植込み術をはじめとして、薬物コントロールを必要とする心不全・不整脈の治療を行っています。

消化器チーム

上下部内視鏡検査及び内視鏡下でのポリープ・腫瘍切除術を行っています。



遠山 奈雅博



近藤 承一



富永 尚樹



浦田 稔郎



原田 敏郎

ALDOSTERONISM IS THE ROOT OF EVIL

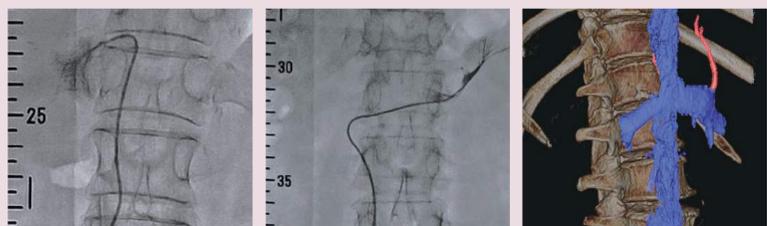
— アルドステロン症は諸悪の根源 —

190 / 100 mmHg

本態性高血圧患者と比較して

脳卒中	4.2倍
心筋梗塞	6.5倍
心房細動	12.1倍

副腎静脈サンプリング



内視鏡的副腎切除

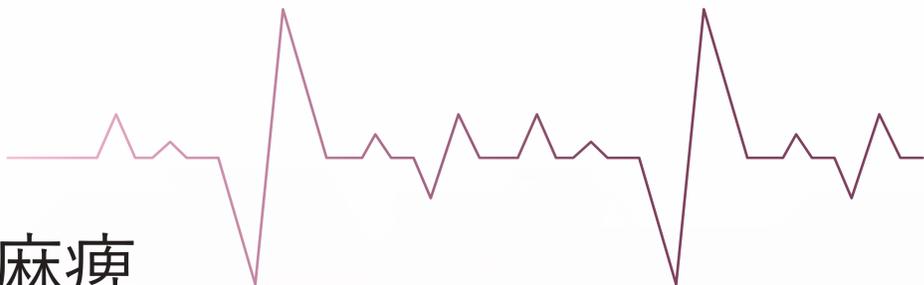
OR

抗アルドステロン薬

120 / 70 mmHg

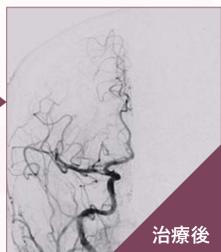


TIME IS BRAIN



▶ CASE

● 51歳男性 ● 左半身麻痺



臨床検査
技師

迅速な診断と迅速かつ
丁寧な治療

事務員

医師

血管診療は
時間が勝負

看護師

より良い転帰を目指し
1分1秒を大切に

放射線
技師

臨床
工学士

TIME IS LIFE



▶ CASE

● 70歳男性 ● 胸痛





内分泌・糖尿病内科 部長
河原 哲也

日本内科学会認定医・指導医
日本糖尿病学会専門医・指導医
日本内分泌学会専門医・指導医
医学博士
公衆衛生学修士



内分泌・糖尿病内科 医師
鬼山 佳祐

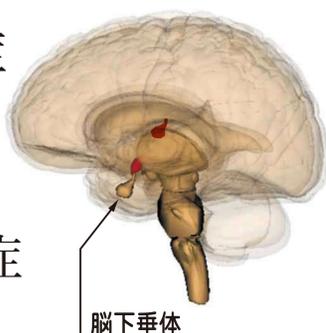
日本内科学会
日本糖尿病学会
日本内分泌学会

当科で扱う疾患

内分泌疾患

脳下垂体(前葉)

下垂体前葉機能低下症
先端肥大症
成長ホルモン分泌不全
ゴナドトロピン単独欠損症
高プロラクチン血症

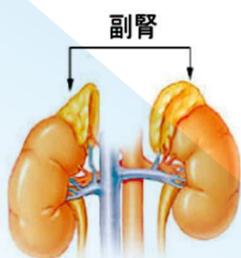


(後葉)

尿崩症
SIADH(抗利尿ホルモン分泌過剰症)

副腎疾患

クッシング症候群
アルドステロン症
副腎皮質機能低下(アジソン病など)
褐色細胞腫



甲状腺疾患

バセドウ病
橋本病
腫瘍性疾患
甲状腺クリーゼ



副甲状腺疾患

原発性副甲状腺機能亢進症
MEN1型(Wermer症候群)
+下垂体腫瘍+膵島腫瘍
MEN2A型(Sipple症候群)
+甲状腺髄様癌+褐色細胞腫

代謝糖尿病関連疾患

1型、2型糖尿病
高血圧(二次性含む)
脂質異常症(高脂血症)・肥満など

糖尿病患者さんへの対応

- ・教育入院・外来での薬剤調節
- ・持続皮下インスリン注入(CSII)、持続血糖測定器(CGM)の導入
- ・コントロール不良患者さんに対する二次性糖尿病の鑑別等々の精査加療を行っていきます。



当院は肥満症に対する治療チームを持っています！

- ここでいう肥満症とは**病的肥満**を指します。
- 病的肥満とは糖尿病や心臓病などの肥満合併症によって行動を制限されたり**死に至ったり**する状態をいいます。

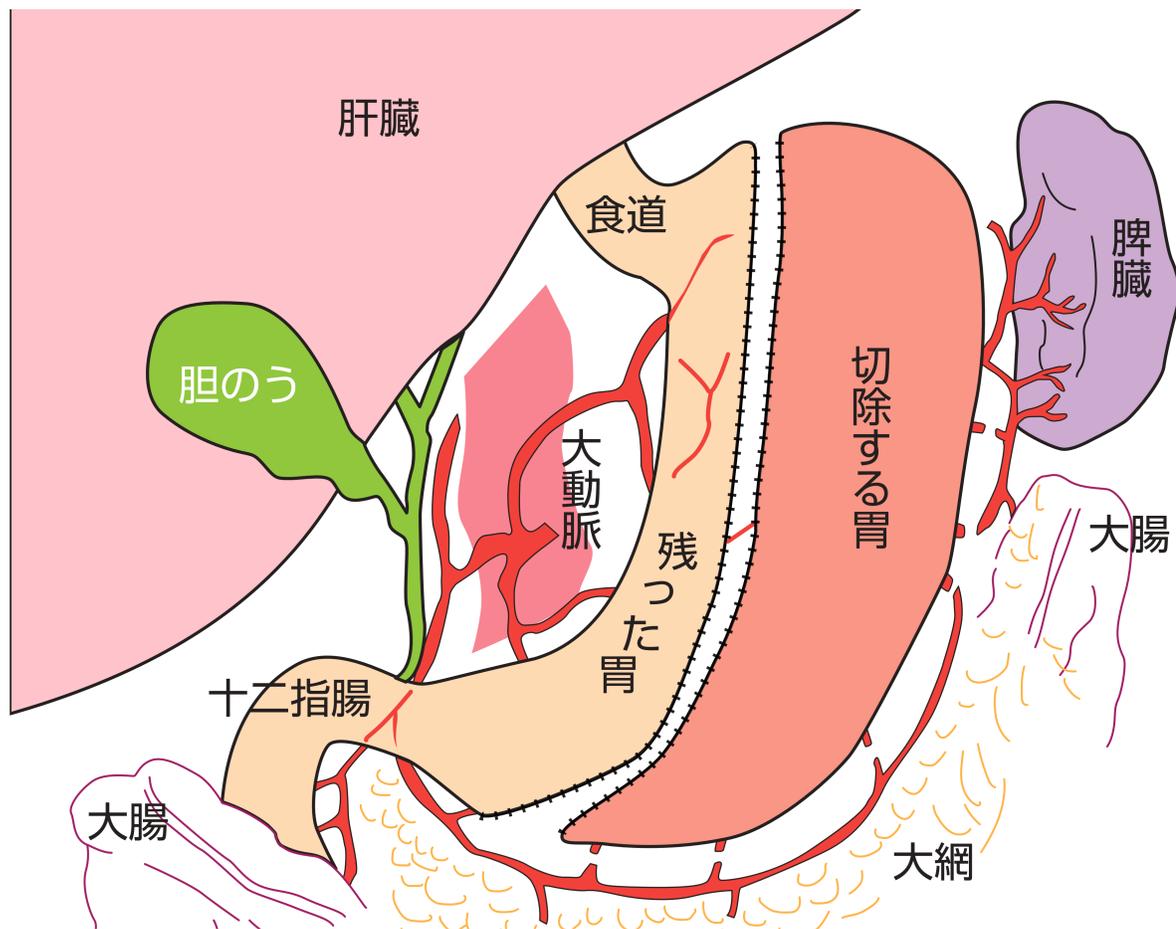
- 治療の対象となるのは、「肥満度の指標である**BMI**(=体重kg÷身長mの2乗)が**35以上**で、肥満に起因する合併疾患を有する方」となります。例)身長160cmであれば89.6kg、170cm→101.15kgとなります。つまり100kgを越す肥満体型の方は当てはまる可能性があります。

肥満症治療により糖尿病が改善する！

- 肥満症治療により糖尿病が寛解することが現在世界的にも**科学的に証明されています**。
- 糖尿病を患い、また病的肥満の状態にある方は 肥満症治療を行うことによって**糖尿病薬が確実に減量でき**、また不要になることもあります。

まずは内科的治療から！

- 肥満症治療に最も有効とされているのは後述する手術です。
- しかしいきなり手術になるわけではありません。
- 内科的治療のみで目標体重まで減少できるケースもあり、手術が必要となるのは、内科治療を半年行っても治療抵抗性(うまく減量できない)がある方だとされています。



減量手術

- 当院で行う減量手術は**腹腔鏡下袖状胃切除**となります。(お腹の数か所の穴をあけて器械を用いて行うものでイメージは絵を参考にして頂ければと思います。)
- 減量手術にはバイパス手術やバンディング手術と言った手術も存在しますが、現在日本では保険適応ではありません。

効果

- 肥満が解消するとともに上記した糖尿病以外に**高血圧症、脂質異常症、睡眠時無呼吸症候群**などの関連した合併症も**軽快**することも知られております。
- また手術を受けられた患者の**生活の質(QOL)**も改善することがわかっています。例えば一日の摂取カロリーは術前平均2679kcal(キロカロリー)から1346kcalに減ったにも関わらず**食の満足度はあがった**という結果が出ています。
- 治療に対する不安(治療内容、費用、時間、合併症など)**があるかと思えます。まずは肥満外来を受診して担当医より話を聞いてみてください。
- 病的肥満の方はそうでない方に比べて時間が残されておられません。20歳でBMI45の人は同年齢の正常体重者より余命が13年短くなるという結果があります。
- 治療可能な年齢は**18歳から65歳**までです。
- 美容目的ではありません**ので美容整形外科で行う脂肪吸引などは全く異なります。

治療に絶対に必要なもの！

やせて健康になりたいという気持ち

治療に対する家族の理解

ダイエットに何度も取り組んだけどやせられないあなた！
情熱があれば是非外来の扉を叩いてください！

外科スタッフ紹介



石田 慎悟

佐賀大学卒
田川市出身

- ・ 当院外科部長となり3年目を迎える。
- ・ 多種の外科手術をこなし積極的に他科の相談にのっている。
- ・ 外科医に珍しく穏やかな性格で、研修医からは「一番モノが頼みやすい部長」とおだてられ、良いように騙されている…。
- ・ 「人間万事塞翁が馬」を座右の銘としており一喜一憂しない姿勢で仕事に臨んでいる。



三毛門 佳彦

和歌山医科大学卒
吉富町出身

- ・ 昨年度より赴任し留任で2年目となりました。門司に来てからの1年はとても早く感じました。
- ・ これまでは先輩の陰に隠れ、目立たないように過ごしていましたが、体も物理的に大きくなってしまったことも関係し、隠れることが難しくなりました(汗)。
- ・ 令和の時代はもう少しその存在感を発揮できるように頑張ります。今年度も宜しくお願いします。



下村 史人

琉球大学卒

- ・ 当科随一の若手ホープ。
- ・ 生まれは宮崎、途中で沖縄、ご縁があって北九州へ。
- ・ 部長の座を狙ってやまない姿勢は、他の追随を許さない。
- ・ 『怠惰を求めて勤勉に行き着く』これをモットーに日々邁進中。

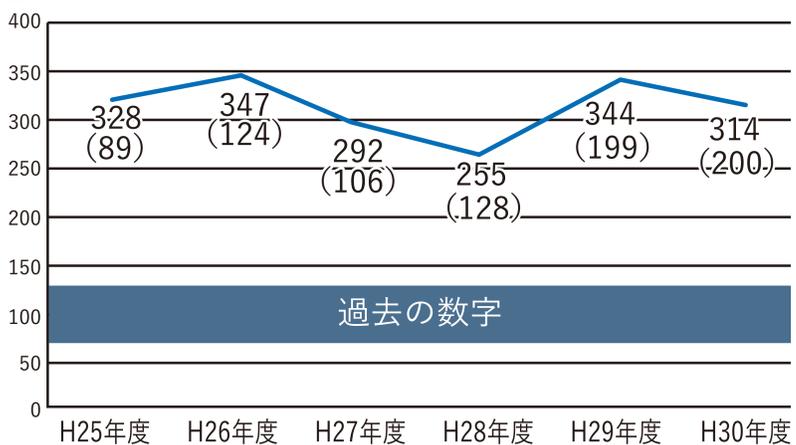
当院外科で扱う

疾患

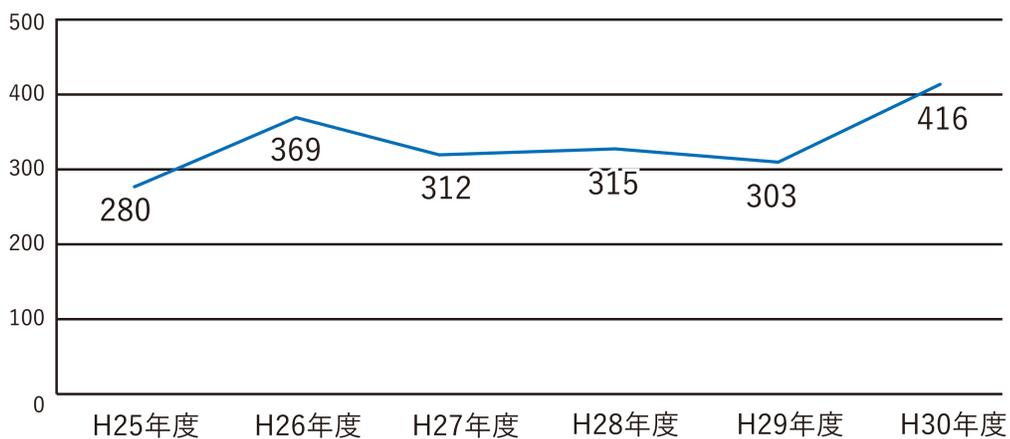
- 消化管疾患 食道癌、胃癌、大腸癌、消化管間質性腫瘍(GIST)など
- 肝胆膵疾患 肝癌、膵癌、胆管癌、胆嚢癌、胆石胆嚢炎、総胆管結石、膵NET、IPMNなど
- 急性腹症 急性胆嚢炎、胆管炎、虫垂炎、胃十二指腸潰瘍穿孔、腸閉塞、膵炎など
- 鼠径ヘルニア、腹壁癒痕ヘルニア、**食道裂孔ヘルニア**など
- 乳腺疾患 乳癌など
- 腹部外傷
- 痔核
- 下肢静脈瘤
- **副腎腫瘍の腹腔鏡下手術**
- **肥満・糖尿病手術** 現在取り組んでいる他院に少ない治療科目です

手術件数

()内は鏡視下手術数



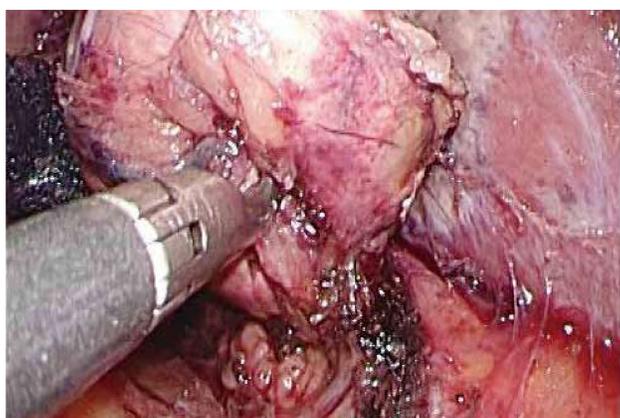
御紹介頂いた患者数



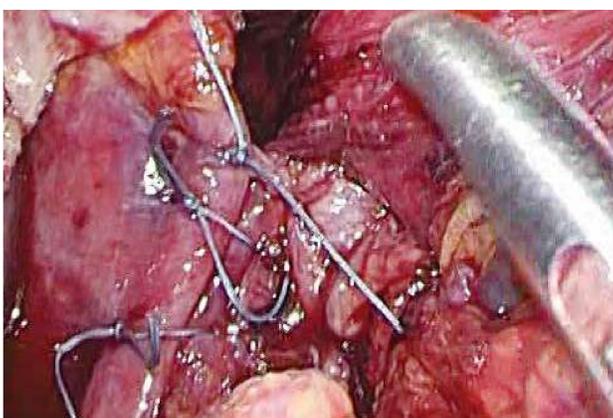
今年度の外科のスローガンは**堅忍果決**です。(耐えるときは耐え決断するときは速やかにという意味があります。)

- ・ 昨年度は三毛門医師が赴任しスタッフ増員となったことで手術にゆとりをもって臨むことが出来ました。
- ・ 昨年度より始めていたプロジェクト(**肥満・糖尿病外科手術への取り組み**)を専門チーム作成し進行中です。
- ・ スタッフの交代(山城→下村)がありますが、福岡新水巻病院(関連病院)からの応援を加え昨年同様の医療レベルを提供出来るようにしています。
- ・ 手術機材(電気メスや手術台補助器具)を新たに購入しており効率的な手術展開がますます可能になっております。
- ・ **3人体制を維持しており**、これまで通り24時間365日手術が可能な体制としております。
- ・ 専門性が高いと思われる高度手術についても大学教授や関連病院の習熟した外科スタッフ専門スタッフの応援により当院での手術が可能となっています。
- ・ 上記該当疾患でお困りの際には是非当科にご来院、ご紹介ください。

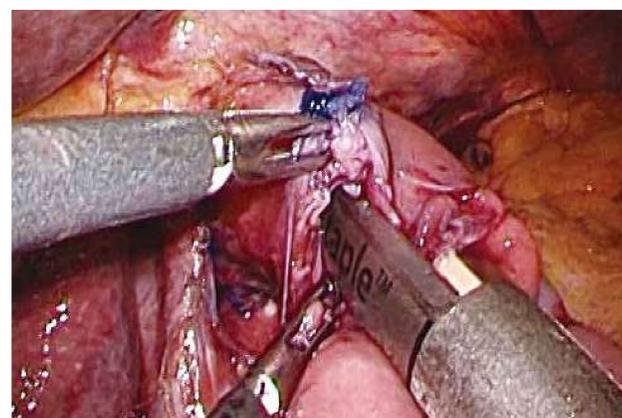
腹腔鏡手術の一場面



▲腹腔鏡下右副腎腫瘍摘出術
(腫瘍の全貌が見えてきた場面)



▲食道裂孔ヘルニアに対する腹腔鏡下ニッセン手術
(横隔膜脚を縫縮した場面)



▲腹腔鏡下胃全摘術
(オーバーラップ法での食道空腸吻合の一場面)

社会医療法人財団池友会

呼吸器センター

新小文字病院



■ 資格・所属学会
医学博士、日本外科学会
外科専門医、指導医
日本呼吸器外科学会
呼吸器外科専門医、評議員
日本呼吸器学会、呼吸器専門医
Infection Control Doctor(ICD)

■ 北九州市出身

宗 哲哉



■ 資格・所属学会
日本外科学会
日本呼吸器外科学会
日本胸部外科学会
日本肺癌学会

■ 北九州市出身

■ 兵庫医大大学院在学中
(福岡和白病院出張中)

山下 直樹

福岡和白病院



■ 部長
吉松 隆



■ 部長
川野 大悟



■ 医師
山岡 賢俊

新久喜総合病院



■ 部長
宮田 剛彰



■ 医師
比嘉 花絵

新行橋病院



■ 部長
下川 秀彦

産業医科大学呼吸器内科との連携



■ 教授
矢寺 和博



■ 准教授
川波 敏則

H30年5月～
特別外来開設
毎月第1・第3木曜午前
(完全予約制)

呼吸器外科業績

H30年度
学会発表

第58回 日本呼吸器学会学術講演会(2018年4月、大阪)
●治療抵抗性であったRothia mucilaginosa肺感染症の1例 宗 哲哉

第35回 日本呼吸器外科学会(2018年5月、千葉)
●小型肺癌により傍腫瘍性神経症候群(辺縁系脳炎)を来した1例 宗 哲哉
●アスペルギローマに部分肺静脈還流異常を合併した1例 山下直樹

第51回 日本胸部外科学会九州地方会(2018年月、鹿児島)
●集学的治療により長期生存している局所進行肺癌の1例 宗 哲哉
●左肺上葉切除時に発見された部分肺静脈還流異常の1例 山下直樹

第58回 日本肺癌学会学術総会(2017年10月、横浜)
●肺癌再発・上部胸椎浸潤により不全対麻痺と膀胱直腸障害を来した1例 宗 哲哉

治療実績

H22年4月1日～開設後

外来数
約1500人/年
(約120人/月)

新患数
約250人/年
(約20人/月)

手術症例
80例前後/年

抗癌剤症例
約80例/年

平均在院日数
12日前後

扱う疾患

呼吸器悪性腫瘍

肺癌、悪性中皮腫、
転移性肺腫瘍、胸壁腫瘍

嚢胞性肺疾患

気胸、肺気腫

呼吸器良性疾患

肺過腫脹、硬化性血管腫、
間質性肺炎・肺線維症

縦隔疾患

縦隔腫瘍、縦隔炎、
特発性縦隔気腫

呼吸器感染症

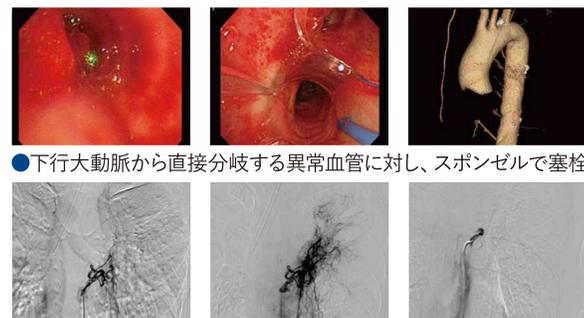
膿胸、胸膜炎、肺真菌症、
肺寄生虫疾患、特殊な肺炎

胸部外傷・気道異物

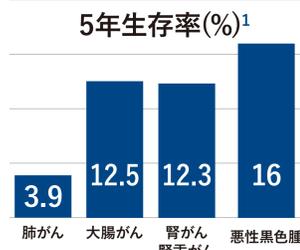
血気胸、肺挫傷、気管支損傷、
肋骨骨折、義歯誤嚥



大量喀血に対する BAE 気管支動脈塞栓術



最近のがん治療

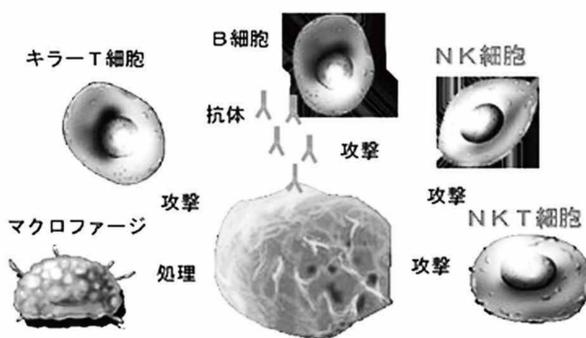


進行がんにおける課題として、生存率の改善が挙げられます。転移を有する固形がん患者の5年生存率は依然として低く¹、新たな治療法が望まれています²。



患者さん自身が持つ免疫監視機構に作用してがんを闘う「新たながん免疫療法」の研究が進んでおり³⁻⁵、現在 900以上の臨床試験が行われています⁶。

癌細胞を攻撃できる免疫細胞



単球 マクロファージ
(組織内を移動し、異物を飲み込んで貪食)

樹状細胞 高い抗原提示能力。
T細胞に抗原情報を伝達し活性化

リンパ球

キラーT細胞(細胞障害性T細胞: CD8+) →がん細胞を障害する
ヘルパーT細胞(CD4+) →B細胞やキラーT細胞などを助ける
制御性T細胞(CD4+/25+) →免疫を抑制する
B細胞(抗原特異的な抗体を分泌)
NK細胞(体内をパトロールし、ウイルス感染やがん細胞を監視し障害)
NKT細胞(NK細胞とT細胞の性質を併せ持つ。免疫調節作用あり)

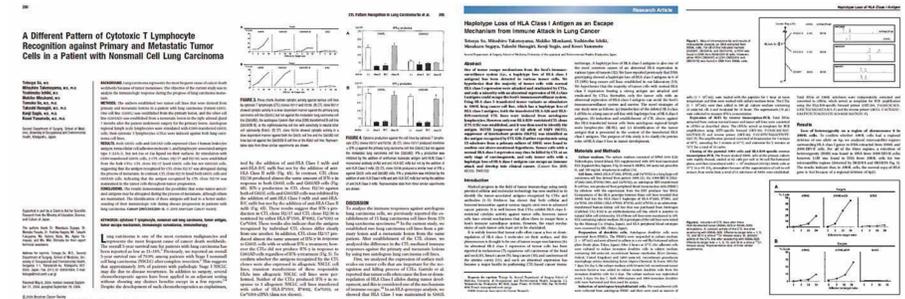
癌の免疫逃避機構

1腫瘍側因子

- 抗原発現の低下
- HLA発現低下
- ペプチドのHLAへの結合低下
- 共刺激分子(CD80, CD86)発現低下
- 免疫抑制因子の産生
- TGF-β, PGE2など
- IL-10, IL-6など
- 免疫エフェクターの腫瘍集積阻害

2宿主側因子

- 免疫寛容
- サプレッサーの誘導
- Th1/Th2バランスの異常
- (Th2型サイトカイン優位)
- APCの機能不全
- 血清免疫抑制因子
- アネルギー



▲肺癌原発巣と副腎転移巣における宿主免疫応答の差異の検討

▲肺癌細胞が宿主免疫応答から逃避するメカニズムの解析

呼吸器外科は結構ハードで体力が必要。

福岡県サッカー協会シニアリーグ(O-40)で続けています



まとめ

呼吸器センター開設後、8年間ですでに多岐に渡る呼吸器疾患を治療しています。手術だけではなく検査や血管内治療、化学療法など呼吸器疾患に関連した殆どの領域を担っています。特に分子標的薬や免疫治療など、新規肺癌治療も積極的に行っています。今後も門司区域唯一の呼吸器手術ができる施設として地域医療に貢献したいと考えています。

実績 (2018年度)

入院診療 848名
 脳卒中 497名
 外来診療 6976名
 (新患 1639名)
 手術件数 263件
 (血管内治療 60件)
 脳ドック 1250名

脳卒中診療実績

当院

施設名	脳卒中	脳卒中	脳卒中	脳卒中
新小文字	26	26	116	1
福生会八幡総合	587	2	0	77
聖マリア	548	65	53	920
飯塚	531	33	23	187
田・九州医療セ	513	43	61	135
小倉記念	456	48	64	137
福岡和台	369	39	43	124
福岡新水巻	359	45	42	129
福岡徳洲会	331	37	27	232
済生会福岡総合	325	41	21	115

読売新聞

2018年5月15日掲載

連携

脳卒中ホットライン 117名/年
 (Stroke Hotline)

急性期血行再建治療
 血栓溶解 (rt PA) 26件
 血栓回収 26件

※脳卒中ホットライン (Stroke Hotline)

救急隊と脳外科医を繋ぐ専用電話。
 搬送待機時間短縮のため、原則全患者を受け入れる。
 2018年5月より24時間稼働。
 治療体制を整えて患者を受け入れることが出来るため、
 搬入から血栓溶解療法開始まで、最短**24分**
 血栓回収療法開始まで、最短**32分**で施行可能。

最新の検査・治療機器

CT 2台
 (頭部 6746件 / 2018年度)
 MRI 3台
 (頭部 5621件 / 2018年度)
 血管内治療室 2室
 臨床放射線技師数 16名

医師紹介

駒谷 英基
 統括部長



藤村 陽都
 部長



押方 章吾
 医長



藤原 誠人



ごあいさつ

私たちは、平成8年4月から脊髄脊椎外科治療を行ってきました。現在では新小文字病院のみならず、関連病院である福岡和白病院・新武雄病院・新行橋病院・福岡新水巻病院・東京品川病院でも脊髄脊椎外科の診療を行っています。近隣のみならず遠方からもご協力頂いている医療機関の皆様にご心より感謝致します。私たちは、月曜日から土曜日の朝7時からカンファランスを行い、前日施行した検査、新規入院患者、当日手術の患者、および問題のある患者の情報などを確認し、治療にあたる医師が個々の考えのもと個別に医療を行うのではなく、治療にあたる医師・看護師・薬剤師そしてリハビリテーションスタッフなどの

医療チームがひとりひとりの患者さんに対して、同一の治療方針を共有するために欠かすことなく行っています。患者さんを中心にした医療こそが真の医療だと思っています。脊髄脊椎外科治療は整形外科でもなく、脳神経外科でもなく、脊髄脊椎外科を専門にしてチームで治療を行うことが理想と考えており、整形外科や脳神経外科にはとらわれず特化すべき分野と考えています。私たちは脊髄脊椎外科治療の最先端であるという自覚を持ち、そして奢ることなく、患者さんの目線に立った医療をこれからも続けていけるよう努力してまいります。

担当医紹介



■ センター長 兼 主任部長
高橋 雄一
■ 徳島大学 H16年卒
日本脳神経外科学会指導医
日本脊髄外科学会指導医



■ 医 長
久壽米木 亮
■ 宮崎大学 H23年卒
日本脳神経外科学会専門医



守本 純
■ 香川医科大学 H21年卒
日本脳神経外科学会専門医



非常勤
■ 下関リハビリテーション病院
小川 浩一
■ 徳島大学 H5年卒
日本脳神経外科学会専門医



非常勤
■ 米盛病院(国内留学)
岡元 彰平
■ 福岡大学 H25年卒

1日のスケジュール

6:30	回診(術後患者)	手術日: 月 木 土
7:00	カンファレンス	
7:30	病棟回診	抄読会: 木
9:00	外来 または 手術	
午後	ミエログラフィー検査	日・祝日は交替で 全患者を回診

診療案内

受付時間 **8時30分~11時**

	月	火	水	木	金	土
午前	久壽米木	久壽米木 守本	高橋 守本	守本	高橋 久壽米木	小川 担当医
午後(予約)		久壽米木	高橋		高橋	

平成30年の診療実績

- 新患 **2,485**
- 入院 **1,073**
- 再来 **8,929**
- 手術 **553**

独自調査 **6873** 病院

全国 & 地方別 **ランキング**

いい病院 **2019**

手術数でわかる

病院選びの決定版!

全国ランキング**18**位
九州・沖縄ランキング**2**位

平成30年の手術 **553例**

頚椎後方手術	椎弓形成術 145 例
	固定術 1 例
	腫瘍摘出術 3 例
149 例	
頚椎前方手術	
27 例	
胸腰椎後方手術	椎体間固定術 105 例
	後側方固定術 40 例
	椎弓形成術 97 例
	ヘルニア摘出術 50 例
	腫瘍摘出術 1 例
	異物除去術 10 例
	BKP 62 例
	その他 12 例
377 例	

ホームページ



ぜひ当科のホームページをご覧ください



<http://center.shinkomonji-hp.jp/>



主任部長
佐藤 元紀

資格
日本整形外科学会専門医・指導医
日本整形外科学会リウマチ医
麻酔科標榜医
北九州骨関節セミナー世話人
北九州肩関節研究会世話人
学歴
山口大学 H16年卒



医長
渡邊 匡能

資格
日本整形外科学会専門医
麻酔科標榜医
学歴
福岡大学 H19年卒



医師
久保 孝仁

学歴
琉球大学 H25年卒



医師
宮地 洋嗣

学歴
福岡大学 H26年卒
日本整形外科学会

担当医師紹介

外科的治療

肩関節

- 腱板断裂
- 反復性肩関節脱臼
- 変形性肩関節症
- 肩関節拘縮

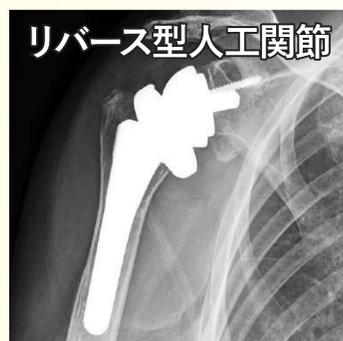
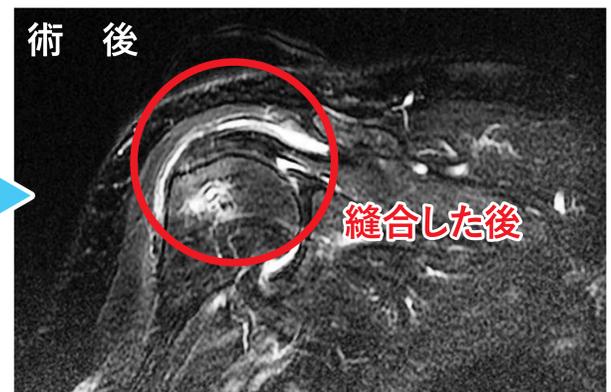
膝関節

- 変形性膝関節症
- 半月板断裂
- 前十字靭帯断裂

股関節

- 変形性股関節症

肩腱板断裂 術前術後



外傷的治療

- 骨折・脱臼
- リハビリテーション
- リウマチ・骨粗鬆症

平成30年度整形外科

手術症例数

■ 大腿骨頸部骨折(人工骨頭)	101
■ 大腿骨転子部骨折(骨接合)	99
■ 偽関節手術	4
■ 人工股関節置換術(THA)	23
■ 人工膝関節置換術(TKA)	44
■ 人工肩関節置換術(TSA)	10
■ 関節鏡視下手術(膝)	42
■ 関節鏡視下手術(肩)	81
■ 骨折観血の手術(上肢)	127
■ 骨折観血の手術(下肢)	109
※転子部骨折除く	
■ その他	215

合計 855

患者数が多い病院ランキング

平成29年度 厚生労働省ホームページ
DPC症例別ランキングより

大腿骨の骨折(人工骨頭挿入術・骨折観血の手術)

病院名	患者数	日数
医療法人 徳洲会 福岡徳洲会病院	127	8.9
福岡和白病院	119	7.9
戸畑共立病院	105	7.3
独立行政法人 労働者健康安全機構 九州労災病院	93	5.8
北九州総合病院	89	8.1
聖マリア病院	82	10.6
新小文字病院	74	9.7

前腕の骨折(骨折観血の手術)

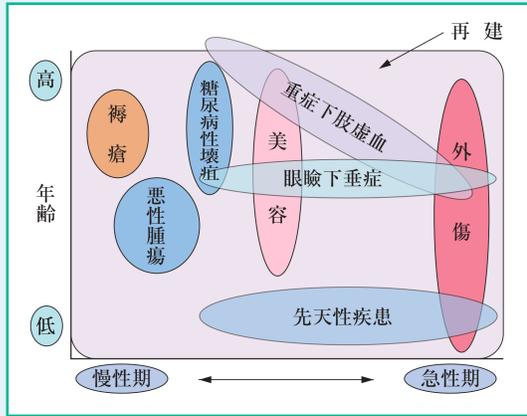
病院名	患者数	日数
聖マリア病院	279	25.8
医療法人 徳洲会 福岡徳洲会病院	262	29.2
福岡和白病院	201	20.7
公立学校共済組合 九州中央病院	186	21.4
飯塚病院	174	29.6
福岡県済済会二日市病院	170	24.5
新小文字病院	162	20.9

門司区における形成外科の立ち位置

門司区の特徴

門司区の人口;95,812人(2019/2/28)
65才以上の割合は約35%

形成外科の守備範囲



形成外科は、癌の摘出後の再建、外傷の欠損部位の再建、美容外科等華やかな部分もありますが、すべては創傷治癒が基礎となっています。高齢者は、基礎疾患を持っていることが多く、創傷治癒を阻害する条件も多くあります。退院時に、治癒していることだけでなく入院時のADLを如何に維持もしくは改善させることができるかが目標です。

担当医紹介



■ 形成外科部長
木股 完仁
■ 北里大学 昭和61年卒

患者の季節別の代表的な疾患と季節に関係のない疾患と入院期間

■ 患者の季節別の代表的な疾患

春; 褥瘡(重症で長期入院)
夏; 褥瘡(軽症から中等症)
秋; 蜂巣炎(2週間程度)、褥瘡(長期入院)
冬; 熱傷(2~4週間)
年間を通して; 水虫(白癬)、良性皮膚腫瘍、外傷
代表症例を紹介します。

■ 季節に関係ない年齢的な疾患と入院期間

眼瞼下垂症 (2日入院)
眼瞼内反症 (2日入院)
陥入爪 (入院無し)

去年は、眼瞼下垂症の治療について説明しましたので、今回は下眼瞼内反症及び陥入爪の治療について紹介します。

① 下眼瞼内反症の治療

■ 先天性

痛いことを親に言えないで20年間悩んでいた方もいらっしゃいます。

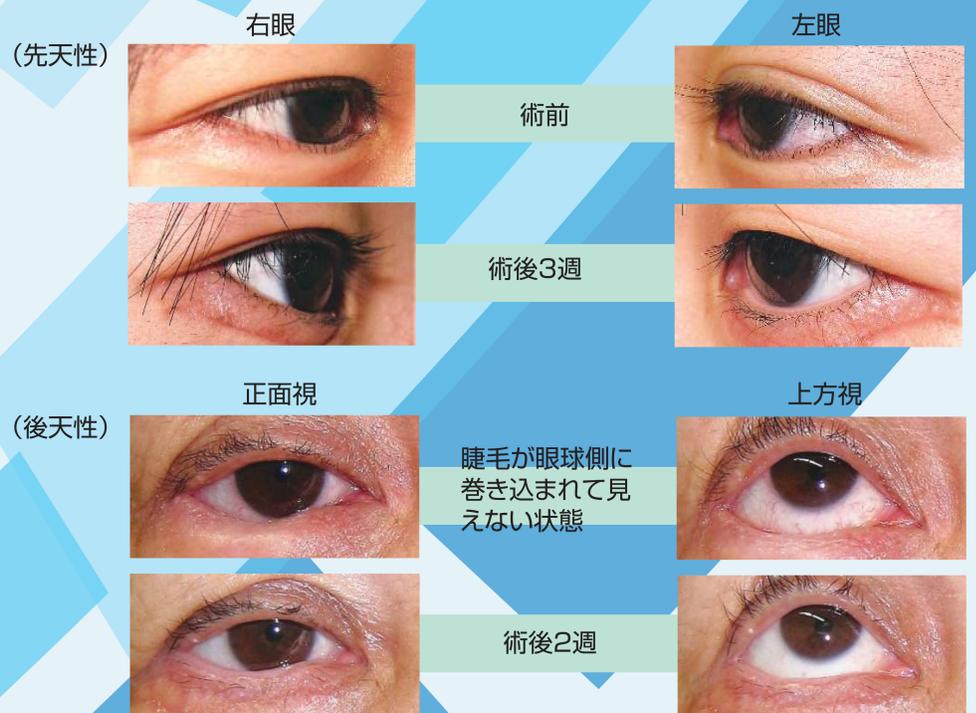
■ 後天性(眼輪筋肥厚)

いわゆる、逆睫毛で疼痛があるため眼科に定期的に受診し、抜毛していることが多いようです。手術することで、逆睫毛の治療で眼科に受診する頻度は各段に減少します。

当院では再発率は、0.5%程度

最長15年経過観察

5年再発なければ完治と考えます。



② 陥入爪の治療

施設入所中のほぼすべての人に爪の変形がみられる。原因は爪白癬が多いと感じます。

疼痛があり、歩けないほどの疼痛があれば手術適応です。当院での手術はフェノール法です。術後の疼痛はほぼなく、入院も必要なく、歩いて帰れます。通院も翌日と、1か月後のチェック。その後は、爪白癬爪の治療をしながら、爪の生え方を見ていくので患者によっては数年間経過を診ます。通院間隔は1~3か月に1回の受診となります。





泌尿器科 部長

山内 雅文

出身：北九州市

高校：小倉高校

大学：山口大学

学会：日本泌尿器科学会(専門医、指導医)

日本透析医学会

日本腎臓学会など

■ 新小文字病院泌尿器科での診療内容**1) 泌尿器疾患の検査、診断、治療**

排尿障害：前立腺肥大症、過活動膀胱、神経因性膀胱など

尿路感染症：腎盂腎炎、前立腺炎、精巣上体炎など

尿路悪性腫瘍：腎癌、腎盂癌、尿管癌、膀胱癌、
前立腺癌、精巣癌など**2) 各種血液浄化療法とバスキュラーアクセス作成**血液透析、血液濾過透析、エンドトキシン吸着など
シャント作成、シャントPTAなど**■ 軟性膀胱鏡による検査、処置**

当院では軟性膀胱鏡を使用して尿道膀胱鏡検査、逆行性腎盂造影、尿管ステント留置・交換を行っている。軟性鏡は硬性鏡に比べて非侵襲的であり、仙骨麻酔等の前処置も必要としない。

上記検査・処置は全て外来で実施可能であり車を運転して帰宅できる。



軟性膀胱鏡

■ 血液透析センター

現在27台のベッドサイドコンソールを有し約50名の血液維持透析を行っている。

**手術件数**

	H28	H29	H30
腎摘、腎尿管全摘除術	10件	6件	7件
根治的前立腺全摘除術	4件	3件	6件
経尿道的前立腺切除術	9件	13件	15件
経尿道的膀胱腫瘍切除術	13件	19件	19件
内シャント造設術	17件	16件	19件
その他	2件	10件	5件
合計	55件	67件	71件

シャントPTA	4件	6件	4件
尿管ステント留置	11件	7件	34件
前立腺生検	46件	34件	48件